

浄土真宗本願寺派 西光寺寺報

「新ご門主就任！」

慈光照護のもと、門信徒の皆様にはますます
すぐ清祥にお念仏ご相続のことと慶賀に存
じます。

今月6日、本願寺で法統継承式が厳修さ
れ、親鸞聖人から第25代となる37歳の若きご
門主が就任されました。新ご門主、前ご門主
おふたりから、ご消息が發布されましたの
で、まず今号では、新ご門主のご消息をここ
に書かせていただきます。



本願寺第25代
専如（せんによ）ご門主

法統継承に際しての消息

本日、私は先代門主の意に従い、法統を継
承し、本願寺住職ならびに浄土真宗本願寺派
門主に就任いたしました。

永代経にお参りください。

6月27日（金）ヒル2時・ヨル7時

ここに先代門主の長きにわたるご教導に
深く感謝しますとともに、法統を継承した責
任の重さを思い、能う限りの努力をいたす決
意であります。

釈尊の説き明かされた阿弥陀如来のご本
願の救いは、七高僧の教えを承けた宗祖親鸞
聖人によつて、浄土真宗というご法義として
明らかにされ、その後、歴代の宗主方を中心
として、多くの方々に支えられ、現代まで伝
えられてきました。その流れを受け継いで
今ここに法統を継承し、未来に向けてご法義
が伝えられていきますよう、力を尽くしたい
と思ひます。

宗門の過去をふりかえりますと、あるいは
時代の常識に疑問を抱かなかつたことによ
る対応、あるいは宗門を存続させるための苦
渋の選択としての対応など、ご法義に順つて
いないと思える対応もなされてきました。
このような過去に学び、時代の常識を無批判
に受け入れることがないよう、また苦渋の選
択が必要になる社会が再び到来しないよう、
注意深く見極めていく必要があります。

宗門の現況を考えます時、各寺院にご縁の
ある方々への伝道はもちろんのこと、寺院に
ご縁のない方々に対して、いかにはたらきか
けていくのかを考えることも重要です。本
願念仏のご法義は、時代や社会が変化しても
変わることはありませんが、ご法義の伝え方
は、その変化につれて変わっていくかねばなら
ないでしょう。現代という時代において、ど
のようにしてご法義を伝えていくのか、宗門
の英知を集集する必要があります。

また、現代のさまざまな問題にどのよう
に取り組むのか、とりわけ、東日本震災をは
じめとする多くの被災地の復興をどのよう
に支援していくのかなど、問題は山積してい
ます。

「自信教人信」のお言葉をいただき、現代の
苦悩とともに背負い、御同朋の社会をめざし
て皆様と歩んでまいりたいと思ひます。

平成二十六年（二〇一四年）六月六日

龍谷門主 釋専如

読ませていただきますと、この大きな教団

をこれから数十年の長きにわたり率いてい
かれる新ご門主の並々ならぬ決意が伺える
ことです。私(若院)も、南無阿弥陀仏のみ
名(名号)が私に至り届いて救われていくと
いうみ教えを、親鸞聖人の「弥陀五劫思惟の
願をよくよく案ずれば、ひとえに親鸞一人が
ためなりけり」のお言葉のように、私を救わ
んがための願であったとお念仏の生活をし
ていきたいと思えます。

※七高僧……インドの龍樹菩薩、天親菩薩、
中国の曇鸞大師、道綽禪師、善導大師、日本
の源信和尚、源空上人(法然上人)

※自信教人信……阿弥陀如来の本願の救い
を自分も信じ、他人にも信を勧めること。

※五劫思惟……阿弥陀仏が四十八願をたて
る以前に、その誓いについて五劫もの長い間
考え続けたこと。

「永代経法要のご案内」

日	14時〜	19時〜
速夜	佛説無量寿経 四十八願 法話二席	新制 佛説観無量寿経 法話一席
27日 (金)		

福井市教應寺住職

本願寺布教使

奥田 順誓師です。

お経の『経』という字は『経糸』の経とい
う字です。経糸がしつかりしていないと、そ
の布はしつかりした布にはなりません。私
たちがこの娑婆世界を生き抜いていくため
には、お釈迦さまのお言葉である『経』が不
可欠です。この『経』が、また、南無阿弥陀
仏が、永代にわたって続いていきますように
と、永代経の法要を勤めさせていただいでい
ます。先に浄土に往生された皆様の有縁の
方々を通して、南無阿弥陀仏に遇わされてい
だきましよう。

「御仏供米(御膳米)について」

なお、例年同様、『御仏供米』はレジ袋を重
ねたものに入れて、マジックで記名の上お持
ちください。ご門徒の皆様がお供えしてく
ださったお米を、永代経の日に本堂にお供え
し、その後は毎日炊いたらお仏飯として阿弥
陀さまにお供えさせていただきます。お一
人暮らしなどで持つてくるのができない
場合は取りに伺うこともできます。または、
『御膳米料』としてお供えいただいてもかま
いません。

「上出さんの応援感謝です！」

第38号で皆様にもお願いいたしました、西
光寺門徒の上出純宏さんが、おかげさまで坂
井市議会議員に当選されました。躍進の二
期目でこれからもバリバリ坂井市のために

ご活躍されることでしよう。門信徒の皆様
にはご協力・ご支援誠に有り難うございまし
た。

「下足箱が新しくなりました！」

当院本堂
の階段横に
下足箱があ
りますね。
ずいぶん前
にご門徒さ
んから寄進
していただいたものですが、合板製だったこ
ともあり、長年の風雨でずいぶん傷んでおり
ました。このたび、ご門徒の白崎克良さん
が、お友達の大工さん(昨年シロアリさん被
害を修復してください)に依頼して作って
もらった立派な下足箱を寄進してください
ました。本堂に有り難うございました。永
代経はじめ西光寺の法座には、この下足箱が
一杯になることを念じております。



※来寺のお約束や、お参りの変更など、重要
なことは必ず若院の携帯にお電話下さい。
出られなければ留守電に入れてください。
こちらからご連絡いたします。

電話番号 090-8967-7902

メールアドレス

soichiro4989@gmail.com